

キュードスピーチ

キュードスピーチとは？

キュードスピーチ（CS）は、話しことばを視覚化するツールである。CSは、音素をベースとしたシステムで、顔面近くの4カ所で8種類の手形を使うことで、話すとき口の動きが持つ情報を補うものである。キュードスピーチは、読唇技術から推測作業を取り除き、視覚のみを手段としてあらゆる言語での表現に対応するものである。簡単な手のキューを、話すときの自然な唇の動きと組み合わせることで、唇の動きでは同じように見える単語を視覚的に識別し、読み取ることができるようになる。

なぜ開発が必要だったか？

リテラシー、すなわち読み書き能力がキュードスピーチの出発点であり、最大の目標でもある。キュードスピーチは、聴覚の正常な両親が、ろうの子供と通常の話しことばでコミュニケーションすることを可能にするために開発されたものである。話しことばに対するもう一つの視覚的手段ともいえるこの方法によりろうの子供は、言語を音韻コードとして認識することができ、読む能力を向上させることができるのである。このシステムを使うことにより、ろう者は、ことばが話されるのと同時にそのことばを「視聴」、すなわち目で聞くことができるようになり、ろうの子供は、話しことばを自然かつふつうのスピードで受け止めることができるようになる。

キュードスピーチを使うのは誰か？

ろうの子供たちの家族は、米国内外で30年以上に渡ってキューを出し続けてきた。キュードスピーチは50以上の言語、方言に適用されてきた。聴覚の正常な両親は、CSを使って自分たちが生まれ持った言語で自由に表現することができる。

キュードスピーチは、ほかに教育の場でも、キューを出す先生やキューの通訳者によっても使われている。この通訳者はCS音訳家(Cued Speech Translator)と呼ばれて、教室内で発生するあらゆる音声や音情報を伝達する役目を持っている。学生は、話者の発表にほんのわずか遅れるだけで、話しことばを目に見える形で、しかも音節単位で受け取ることができる。したがって、幼稚園から高校卒業後まで全米の学習者が、CS音訳家の助けを借りることで、教育の本流に等しく参加することができるのである。先生たちにとって音訳家とチームを組むことは、通訳者とチームを組むことによく似ている。

キュードスピーチは、発声の訓練のために開発されたものではないが、発声セラピストもこの方法を、発音、訛り、持続時間、リズムを改善するツールとして使用することができる。

キュードスピーチは、多感覚入力を採用しているため、その使用は、聞く、話す、言語におけるさまざまなニーズを抱えた子供や大人に合わせて、聴覚弁別、読唇技術、明瞭発音、音声学訓練などとも関わっている。キュードスピーチは、また聞くこと、話すこと、バイリンガル、そのほかトータルなコミュニケーションにおける考え方と相通じるものがある。

キュードスピーチを使用した結果

・言語能力/リテラシー

キュードスピーチを受信する側は、キューで伝えられた話しことばを極めて高い精度で理解することができる。キューを使った会話を長期間継続的に続けていると言語能力やリテラシーのレベルは正常な聴力を持った同級生と比べて遜色のないものになる。キュードスピーチを使える学生の多くは、幼稚園から大学まで通してふつうクラスに入学している。

・読唇

話しことばに関する知識があるために、人はキュードスピーチを続けていると、しばしば高度な読唇技術を体得し、キューを知らない人ともコミュニケーションできるようになる。

・聴力

キュードスピーチは、言語の音韻部分を伝えるために使われるツールである。従って聴力の使用と全面的に同様の意味を持つもので、聴力、弁別、理解力の発達を促すものである。キューで養われた土台は人工蝸牛管を埋め込むことで統合的な力を発揮する。

・外国語

キュードスピーチは、英語以外でも使われる。米国のろう学生はキュードスピーチをスペイン語、フランス語、ラテン語など外国語会話の学習にも用いている。

キュードスピーチを第一優先のコミュニケーション・ツールとして使っている家族もあるし、ろうの子供たちとのコミュニケーションにバイリンガル方式、すなわちある時はASL（アメリカ式手話）ある時は英語用キュードスピーチを使う家族もある。

キュードスピーチは、話しことばの音韻学的根拠と関連があることから、耳から入る情報を重要視するアプローチとは相性がよい。また、コミュニケーションを視覚情報に頼る人にとってキュードスピーチは、視覚を通して完全に理解できるものである。最初の言語がASLという子供たちには、キュードスピーチは、英語能力の獲得を促進する手段として使用することができる。

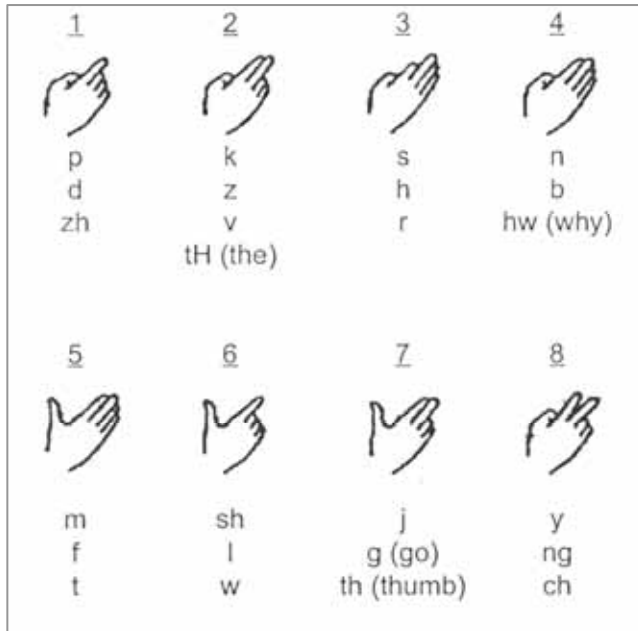
キュードスピーチを使うろう者はどのようにコミュニケーションするか？

ほとんどの場合、耳の聞こえる人たちとのやりとりには会話によるコミュニケーションが使われる。手話を使う人とのコミュニケーションには手話を使う人が多い。

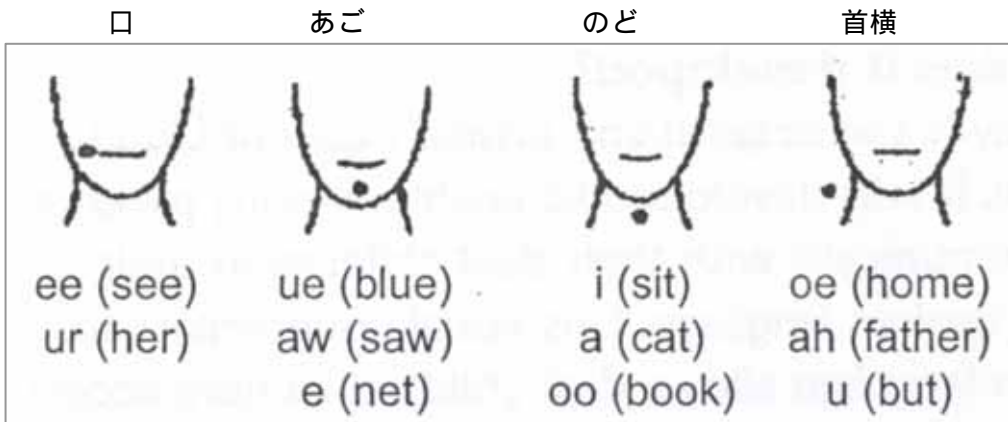
キューを習得するにはどうすればよい？

キュードスピーチの訓練は公認インストラクタのネットワークを検索することで全米どこでも受講が可能である。「Cue Camps（キュー合宿）」は家族やプロの指導員がキューのスキルを磨くのによく使われる方法である。

キュードスピーチで子音を表す手の形



キュードスピーチで母音を表す方法



二重母音の表し方

横 - のど

あご - のど



ie (tie)
ou (cow)



ae (cake)
oi (boy)

These materials were developed in the U.S.A. by the Northeast Technical Assistance Center (NETAC) of the National Technical Institute for the Deaf at Rochester Institute of Technology in the course of an agreement with the U.S. Department of Education. This tipsheet was compiled by Catherine Quenin, President, National Cued Speech Association, and translated into Japanese by Prof. Toshiaki Hirai a faculty member at Shizuoka University of Welfare as part of the PEPNet-Japan program--a collaborative effort of Tsukuba College of Technology and PEN-International at NTID.PEN-international is funded by grants from The Nippon Foundation of Japan to NTID.